

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成28年3月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は7から5に減少。「減少した」業種は4から3に減少。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は8から10に増加。「減少した」業種は15から5に減少。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は6から5に減少。「悪化した」業種は8から9に増加。

前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は1のまま変化なし。「減少した」業種は12から8に減少。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は6から5に減少。「減少した」業種は13から12に減少。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は4から1に減少。「悪化した」業種は17から16に減少。

製造業

豆腐製造

【県内全域】

先月に続き、原材料(国産・輸入大豆)が高騰しており、販売価格を検討せざるをえない状況である。

酒類製造

【県内全域】

前年比ほぼ同様の売上。全国的にも前期比上昇の兆し見えず。

製材

【木更津】

ロシア船2隻、南用材1隻入港予定。これにより在庫は増加の見込み。

印刷

【県内全域】

景況の変化について、3月半ば迄の県内組合員受注売上は、先行き不安な景況感から来る消費マインドの冷え込み等の影響により、全体としては芳しくなかったようです。但し、中には年度末需要を受注し好調な企業もあります。様々な要素でパイの奪い合いが一層激しくなっており、またデフレになっていきます。その結果として企業の業績に大きく格差がついてきていますので、全体の景況感改善は未だ先です。

鉄工

【千葉】

景況の変化は、組合員各社の足元の動向は、鉄鋼の流通に近い業

態の先ほど、景況悪化を感じている。一方で多数派の加工を主体とした組合員は厳しさはあるものの、概ね堅調を維持している状況になっている。

機械部品製造

【野田】

景況は大きな変化なし。年度末なのにパツとしない。

機械部品製造

【流山】

景況については、特に変化がないと思われるが、決算により在庫調整が入り受注が減少している業種もある。大企業等の動向は、隣地の隣地も大型物流倉庫の開発が決定した。平成30年の後半には、全棟完成するので、人材確保が難しくなることが予測される。

機械部品製造

【柏】

景況感的には引き続き足下は低調。各得意先の中期的戦略による変化が動き始め、今後の対応が重要チャンスと捉え、積極的に活動顧客のニーズ、ソリューションを掴む。

金属製品製造

【船橋】

景況の変化は、横ばい状況が続いている。組合の事業活動は、栄水路護岸の整備推進を図っていく。

採石業

【県内全域】

2月の出荷(3月計上)は大幅

に伸びて、平成27年度の出荷目標である300千㎡を451%上回った。今後とも、コンテナ船の大型化、オリンピックでの大型客船の寄港増が予想されるなど、港湾整備に伴う石材の需要はあるものの、工事個所が多岐に渡り1か所での需要量が少ない状況である。

■土砂採取

【県内全域】

景気の変化は、公共事業での山砂需要が見られたが、一般的に低調気味である。

■非製造業

■総合卸売

【千葉県・東京都】

景況は変化なし。3月4日に全国卸商業団地協同組合連合会8(商団連)の全国事務局長会議が開催された。今回の会議での各団地事例紹介7件の内、団地の再整備、耐震化対策等への取組事例が5件あり、全国的に組合・団地機能維持のための対応の必要性が高まっている。

■建築材料卸売

【県内全域】

グローバル化が進むにつれ、又同一労働同一賃金や女性の労働力活用が進むほど、賃金や所得が下方にひきづられていき、中流中間層が消え、下流化が加速される気配。ロボットができない高付加価値

の仕事は高所得を得られるだろうが、そんな人はどのくらいいるのか。今後とも大多数は景気回復実感できないのではないかと。

■自動車解体

【県内全域】

スクラップ価格は底入れした様子でやや上昇の兆し。

■乾物卸売

【県内全域】

景況の変化は後退。海苔不足に起因。海苔生産量が回復傾向にあるがいまだ、3月10日現在、千葉県は、対前年比生産量52%、金額64%。全国生産量93%、金額101%。依然、中下級品相場が高騰している。

■卸売

【茂原】

大企業ではベースアップで好景気配ではありますが、まだまだ中小企業に至るまで時間がかかるし地方に及ぶまでに時間がかかる。政府も好景気をあおっているかに見える。現実には厳しいものである。

■中古車仕入・販売

【県内全域】

市場に流通する中古自動車が増えてくる時期であるが、良質車の流通が少なく、仕入れ値が上昇する為、仕入に苦勞している様です。

■小売

【東金】

ファッション関連品は、春物は

気候により左右されている感がある。新入学、新社会人向け商品が動いている。日用品関連は横ばい状況。飲食・食品関係は、相変わらず客数減で苦戦をしている。組合員の資金繰りが厳しい。

■小売

【野田】

バーゲンセールでは、低価格帯の衣料品に動きがあったが、生活防衛のためか、財布の紐は固い。

■小売・サービス

【柏】

景況の変化について、今月前半暖かく成った時は、来街者も増えいい塩梅と成って来た感が有ったがここに来て真冬なみに成ってしまったら、また人の出が無くなった。一度暖かく成ったのが寒くなると応えるようだ。業界の動きについて、業界では冬の展示会が始まったが、取引先が来てくれない処も有ると嘆きが出ている。

■建設揚重

【県内全域】

景況の変化は、低調傾向が継続している。4月以降に期待したい。

■一般廃棄物処理

【千葉】

数字的には前年同月と大差のない結果と思われる。来月から(平成28年4月)の千葉市の条例料金改定(ごみ処理手数料の値上げ)

のお客様対応に追われる。

■土木建築サービス

【県内全域】

景況の変化について、2月発表の10月〜12月期GDP改定値が前期比▲0.3%、年率換算で▲1.1%と、民間在庫の積み上がりや設備投資の増加により、マイナス幅を若干縮小させたものの、市場の混乱と相俟って、依然として景気への下押し圧力が強い。

■建設

【県内全域】

平成28年度は、公共工事予算がやや減少するため業績低迷が懸念される。

■貨物運送

【野田】

景気の変化は、どうも政府が言っているほど景気の良さを感じられない。

■輸出入

【県内全域】

景況の変化について、3月の売上は前月比、前年同月比とも2月と同じ、横ばい状況です。

